

生涯教育文献目録 (1996.1～1996.12)

日本生涯教育学会

— 凡 例 —

- (1) 学会員を対象に1997年6月から7月にかけて行った生涯教育文献調査の回答をもとに、1996年に発行された文献を収録した。
- (2) 領域別の整理は執筆者自身による回答を尊重し、複数回答のものは、一番最初にあげられた領域のみを採用した。
- (3) 領域は次のとおりである。

形式コード	I 著 書	IV 雑 誌 論 文
	II 編 書	V 編纂書論文
	III 翻 訳 書	VI 調 査 報 告

区分コード

- | | |
|--------------------------|---|
| 1 生涯教育一般 | 7 生涯教育と学校教育
(学校改革・学校開放も含む) |
| 1-a 生涯教育の理念 | 8 生涯教育と地域社会 |
| 1-b 生涯教育の歴史 | 9 生涯教育と企業内教育 |
| 1-c 生涯教育の内容 | 10 生涯教育と放送・通信教育 |
| 1-d 生涯教育の方法 | 11 生涯教育と関連教育施設
(生涯学習センター・社会教育センター・
公民館・文化センターなど諸施設論を含む) |
| 1-f ライフ・サイクル論 | 12 学習情報・相談 |
| 1-g 学習社会論 | 13 人材活用 |
| 1-h その他 | 14 生涯学習と行政施策
(答申・報告書等も含む) |
| 2 生涯教育と青少年教育 | 15 生涯教育の推進事例 |
| 3 生涯教育と成人教育
(婦人教育も含む) | 16 諸外国の生涯教育 |
| 4 生涯教育と高齢者教育 | 17 その他 |
| 5 生涯教育と社会体育・スポーツ | |
| 6 生涯教育と家庭教育 | |

- (4) 記載事項は次のとおりである。

<単行本>①編著者②書名③発行所名

<雑誌・報告書等の論文・記事>①執筆者名②論文名③所収誌名④巻・号 ⑤
所収頁⑥発行所名

執筆者(著者, 編者, 翻訳者)を50音順とした。

1. 生涯教育一般

I 著 書

- ・瀬沼克彰,『生涯学習のネットワーク推進』,学文社,1-283頁。
- ・野村佳子,『未来創造学としての生涯教育 -野村生涯教育原論Ⅰ-』,光村教育図書,1-267頁。

II 編 書

- ・赤尾勝己・山本慶裕編著,『学びのスタイル -生涯学習入門-』,玉川大学出版部。

IV 雑誌論文

- ・浅井経子,「生涯学習領域における創造性の関係論的解明」,『淑徳短期大学研究紀要 第35号』,55-68頁。
- ・山本恒夫,「学習成果を活用するために」,『教育委員会月報 平成8年12月臨時増刊号』,第一法規出版,4-8頁。

V 編纂書論文

- ・浅井経子,「学習成果の評価と活用の事例」,『青森県民カレッジシステムに関する研究開発2年次報告』,青森県教育庁生涯学習課,66-74頁。
- ・新井郁男,「生涯教育と生涯学習はどう違うか」,新井郁男編『指導観の転換』,教育開発研究所,7-10頁。
- ・岡本包治,「わが国の生涯学習の動向と展望」,『東京青年 No.325』,東京キリスト教青年会,3-32頁。
- ・佐藤晴雄,「生涯学習と社会教育」,『教育データランド '96-'97』,時事通信社,170-209頁。
- ・佐藤晴雄,「社会と教育」,『教育論文・研究報告の書き方』,教育出版,96-102頁。

1-a 生涯教育の理念

II 編 書

- ・池田秀男,「学社融合 -生涯学習における理論的位置づけと境界を超えるアブ

ローチの意義－」、『日本生涯教育学会年報』第17号，日本生涯教育学会，1－4頁。

IV 雑誌論文

- ・池田秀男，「フロント・エンド・モデルと生涯学習」、『教育と医学』第44巻第3号，慶應通信，17－23頁。

V 編纂書論文

- ・西村美東士，「個の深みを支援する新しい社会教育の理念と技術（その6）」、『昭和音楽大学研究紀要』15号，昭和音楽大学，127－145頁。

1－b 生涯教育の歴史

II 編 書

- ・蛭田道春，「荒川区教育史 通史編」，鈴木・斎藤・坂本・蛭田・太郎良・小川・梶村編，荒川区教育委員会，21-25，143-146，219-231，282-297，349-356，401-411，479-488，563-576，585-589頁。

IV 雑誌論文

- ・蛭田道春，「公民館のあゆみ」、『月刊公民館』第470号，全国公民館連合会，2632頁。
- ・ブストス・ナサリオ，「江戸時代の学習機会」，九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学『生涯学習研究センター紀要』第1号，九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学生涯学習研究センター，23-31頁。
- ・堀井啓幸，「教育制度の歴史を追う－学校制度の現状についての認識を基点にして－」、『学校経営』第41巻4号，第一法規，51-58頁。

V 編纂書論文

- ・前田寿紀，「大正後半期とその前後における報徳社の社会事業・社会教育に関する活動の実態－飯田栄太郎主導の活動を事例として－」、『千葉県社会事業史研究』第24号，千葉県社会事業史研究会，3－41頁。

1 - c 生涯教育の内容

IV 雑誌論文

- ・ 竹田敏雄, 「小中学校教員のためのパソコン教室の実施と評価」, 『東海大学短期大学紀要』第29号, 東海大学短期大学紀要委員会, 217, 223頁。

1 - d 生涯教育の方法

I 著 書

- ・ 澤野由紀子, 交流講座「外国語の学び方」, 赤尾勝己・山本慶裕編『学びのスタイル - 生涯学習入門 -』, 玉川大学出版, 128-145頁。
- ・ 瀬沼克彰, 『新しい余暇と社会参加活動』, 大明堂, 1-240頁。

IV 雑誌論文

- ・ 金藤ふゆ子, 「生涯学習プログラム編成の類型とその規定要因 - 生涯学習施設・機関の種類別比較 -」, 日本生涯教育学会編『日本生涯教育学会年報』第17号, 日本生涯教育学会, 91-106頁。
- ・ 坂本 登, 「公民館と団体・グループ」, 『月刊公民館』通巻第466号, (社)全国公民館連合会, 5-10頁。
- ・ 瀬沼克彰, 「社会参加型余暇活動の台頭」, 『ロアジール』9-12月号, 余暇開発センター, 合計20頁。
- ・ 瀬沼克彰, 「市民公益活動団体の運営と課題」, 『警共だより』, 警察共済組合本部, 29-34頁。
- ・ 瀬沼克彰, 「労働のための教育か 余暇充実のための教育か」, 『教職研修』5月増刊号, 教育開発研究所, 78-81頁。
- ・ 瀬沼克彰, 「私たちの生涯学習」, 『月刊 連合』1-12月号, 連合, 24頁。

V 編纂書論文

- ・ 瀬沼克彰, 「ライフイノベーションとしての生涯学習事業」, 『ライフイノベーションと生涯学習』, ソフト化経済センター, 1-9頁。
- ・ 西村美東土, 「生活講座 - ネットワークのつくり方」, 赤尾勝己・山本慶裕編『学びのスタイル - 生涯学習入門 -』, 玉川大学出版部, 232-252頁。

1-e 自己(管理的)学習論

IV 雑誌論文

- ・清水一彦,「自己学習の場である大学」,『生活の設計』No186, 貯蓄広報中央委員会, 26-30頁。

V 編纂書論文

- ・堀井啓幸,「学ぶことと教えること」, 岩崎正吾編『教育の基礎 - その本質と目的 -』, エイデル研究所, 83-96頁。

1-g 学習社会論

II 編 書

- ・池田秀男,「いま, 大学に期待するものは何か」, 住岡英毅編『フォーラム生涯学習社会と大学』, 滋賀大学生涯学習教育研究センター, 29-33頁。

IV 雑誌論文

- ・新井郁男,「リカレント教育を考える」,『教育と医学』第44巻第3号, 慶応通信, 4-10頁。
- ・伊藤俊夫,「社会の変化と生涯学習」,『教職員研修総合特集』No127, 教育開発研究所, 152-155頁。

V 編纂書論文

- ・池田秀男,「生涯学習概念の成長と生涯学習社会の構築」,『安田女子大学紀要』第24号, 安田女子大学, 135-148頁。
- ・池田秀男,「新しい生涯学習を考える - 今, 大学が変わる 大学を変える -」,『生涯学習振興ひろしまフォーラム開催記録』, 第百生命フレンドシップ財団, 1-6頁。

1-h その他

V 編纂書論文

- ・清原慶子,「対話のある生活ー真のコミュニケーションを求めてー」,ルーテル学院大学神学セミナー編『福音とニホン語』,キリスト教視聴覚センター,77-109頁。
- ・佐藤晴雄,「いかに整理し,いかにまとめるか」,『教育論文・研究報告の書き方』,教育出版,36-54頁。

2. 生涯教育と青少年教育

I 著書

- ・浅井経子・山本恒夫・渋谷英章・高橋利行・久世郁夫・今村隆信・岸田 修,『地域における青少年の学校外教育・学習システム構築に関する調査研究報告書』,地域・学校新システム研究会,1-93頁。
- ・伊藤俊夫,「集団宿泊活動の今日的意義」,国立沖縄青年の家編『集団宿泊活動の今日的意義』,国立沖縄青年の家,1-28頁。
- ・高橋利行,「地域における小・中学生の学習・スポーツ・文化活動のあり方」,「学社融合のシミュレーション」,地域・学校新システム研究会編『地域における青少年の学校外教育学習システム構築に関する調査研究報告書』,地域・学校新システム研究会,34-43,58-63頁。

II 編書

- ・佐藤晴雄・牧野禎夫,『生徒指導と教育相談』,エイデル研究所,200頁。

IV 雑誌論文

- ・伊藤俊夫,「不連続型社会化の社会」,『向上』第1009号,(財)修養団,4-8頁。
- ・五十川隆夫,「ハングリーな体験はどこで行うか」,『児童心理』第50巻第7号,№659,金子書房,127-131頁。
- ・岡本包治,「『親子でパソコン』の公開講座の研究」,『社会教育』第51巻第9号,全日本社会教育連合会,44-47頁。

- ・佐藤晴雄,「教育病理に打つ手はないか」,『教育ジャーナル』35巻3号,学習研究社,24-29頁。
- ・佐藤晴雄,「問題行動と『こころの教育』」,『学校経営』6月号,第一法規,100-111頁。
- ・斎藤哲郎,「学校週5日制調査から見える子ども・教師・保護者」,『体育科教育』,第44巻第3号,大修館書店,13-15頁。
- ・斎藤哲郎,「子どもの『生活体験・自然体験調査』を読み解く」,『体育科教育』第44巻15号,大修館書店,18-21頁。
- ・斎藤哲郎,「現代の子供の生活とその実態」,『河川』No.599,(社)日本河川協会,3-6頁。
- ・澤野由紀子,「転換期チェコの青少年と教育」,文部省編『教育と情報』,第一法規出版,50-51頁。
- ・山崎清男・深尾 誠,「青年の生涯学習活動 一働く青年の意識及び実態調査を中心として」,『九州教育学会研究紀要』第23巻,九州教育学会,61-68頁。
- ・由利忠四郎,(連載)「青春と向き合う」,『あきた青年広論』81,82,83,84号,(財)秋田県青年会館,各58-59頁。

V 編纂書論文

- ・浅井経子,『青少年の学社融合システムモデルの設定』,地域・学校新システム研究会,5-13頁。
- ・伊藤俊夫,「あふれる自然・ふれあい体験」,国立赤城青年の家編『BLUE PLANET』,国立赤城青年の家,11-14頁。
- ・西村美東士,「フターの大人のフターの青少年育成地域活動をめざして」,『神奈川県青少年関係調査研究報告書』18号,神奈川県青少年総合研修センター,84-94頁。

VI 調査報告

- ・佐藤晴雄・堀井啓幸・林部一二・杉本真理子,『子どもの読書の実態と家庭における指導に関する調査研究』,(財)日本教材文化研究財団,260頁。
- ・斎藤哲郎,「幼児・児童・生徒の学校外活動実態調査の概要」,青少年教育活動研究会編『幼児・児童・生徒の学校外活動実態調査報告書』,青少年教育活動研究会,3-9頁。
- ・前田寿紀,「青年の家における交流,自然体験活動」,『青年の意識と青年の家の利用に関する研究報告書』,青年の生活意識と行動に関する研究会(代表 伊藤俊夫),47-61頁。

3. 生涯教育と成人教育

IV 雑誌論文

- ・岡本包治,「資格をめざす生涯学習」,『月刊すこ〜れ』No.179, 国際スコレ協会, 13-16頁。
- ・田中雅文,「生涯学習における官民連携の可能性ーカルチャーセンターの講座経営に対する理解をとおしてー」,『月刊 公民館』9月号, 第一法規出版, 5-9頁。
- ・田中雅文,「生涯学習を創造する「市民大学」のこれからの役割」,『社会教育』11月号, (財)全日本社会教育連合会, 8-13頁。
- ・山田 誠,「成人の学習過程に関する一考察ーP. ジャーヴィスの成人学習論を手がかりとしてー」, 中国四国教育学会編『教育研究紀要』第41巻第一部, 中国四国教育学会, 254-259頁。
- ・山田 誠・神部純一・岡田正彦・山川肖美,「学習効果としての満足度の構造と規定要因に関する研究ーリカレント学習コース受講者に対するアンケート調査をもとにー」,『広島大学教育学部紀要』第一部(教育学)第44号, 広島大学教育学部, 133-141頁。

V 編纂書論文

- ・瀬沼克彰,「民間の社会教育事業の動向」,『現代日本女性の主体形式』第7巻, ドメス出版, 307-313頁。
- ・瀬沼克彰,「リフレッシュ教育の現状と今後の展望」, 新堀通也編『教育大変な時代』, 教育開発研究所, 174-185頁。

VI 調査報告

- ・池田秀男,「男女共同参画社会をめざして」, 安田女子大学・広島県立生涯学習センター『ウイメンズカレッジひろしま報告書』(平成7年度), 広島県立生涯学習センター, 11-21頁。
- ・田中雅文,「調査研究の背景と概要」,『市区町村における市民大学等に関する調査研究』, (財)日本余暇文化振興会, 7-12頁。

4. 生涯教育と高齢者教育

IV 雑誌論文

- ・岡本包治,「高齢者による高齢者のための学習集団」,『社会教育』第51巻第12号,全日本社会教育連合会,48-51頁。
- ・瀬沼克彰,「高齢者をめぐる生涯学習の現場」,『月刊 開発と計画』5月号,ウィザード地域開発研究所,56-59頁。
- ・瀬沼克彰,「高齢者をめぐる生涯学習施設の課題」,『生涯学習空間』No.3,ボックス,20-24頁。
- ・根木 昭,「推薦入学者選抜による工業高校出身者の入学後の実態」,『工業教育資料』7月号(通巻第248号),実教出版,1-5頁。

VI 調査報告

- ・新井郁男,「高齢化社会における生きがいと教育」,『高齢化社会に対応した生涯学習の政策・プログラム開発に関する総合的研究』,国立教育研究所生涯学習研究部,31-40頁。
- ・熊谷和夫,「高齢者保健福祉計画(後期基本計画)と地域づくりの課題」(共同研究「札幌圏への一極集中の問題点」),北海学園大学開発研究所『開発論集』第56号,北海学園大学開発研究所,93-105頁。

7. 生涯教育と学校教育

II 編 書

- ・伊藤俊夫,「生涯学習の要請と学校」,永岡 順編『家庭・地域の教育要求と学校経営』,東洋館出版,147-174頁。

IV 雑誌論文

- ・赤尾勝己,「大学はどこへ行こうとしているのか」,『書評』第109号,関西大学生活共同組合組織部,14-21頁。
- ・赤尾勝己,「生涯学習社会における学校教育改革の構図」,『青少年問題研究』第45号,大阪府青少年活動財団,45-60頁。
- ・新井郁男,「これからの学校・家庭・地域社会の役割と連携のあり方」,『学校経

営』第41巻第8号，第一法規，12-17頁。

- ・新井郁男，「変化に対応する明日の学力」，『月刊教育ジャーナル』第34巻第10号，学習研究社，28-31頁。
- ・新井郁男，「学校のスリム化をどう進めていくか」，『教職研修』第289号，教育開発研究所，40-43頁。
- ・新井郁男，「学校のスリム化」，『指導と評価』第501号，日本教育評価研究会，40-43頁。
- ・新井郁男，「社会の変化に対応する学校」，『悠』第13巻第9号，ぎょうせい，18-21頁。
- ・新井郁男，「変貌するコミュニティの中での学校」，『教育展望』第42巻第6号，教育調査研究所，4-13頁。
- ・新井郁男，「学習組織体としての学校の創造」，『教育展望』臨時増刊No.28，教育調査研究所，18-24頁。
- ・新井郁男，「これからの授業と教育指導」，『体育科教育』第44巻第7号，大修館書店，10-13頁。
- ・新井郁男，「開かれた学校を目指す情報交流」，『中学校』No.513，全日本中学長会，12-15頁。
- ・新井郁男，「生きる力を育む観点から『知離れ』を考察する」，『現代教育科学』No.487，明治図書，49-52頁。
- ・新井郁男，「タスク・オン・タイムからタイム・オン・タスクへ」，『学習情報研究』第11巻第11号，学習ソフトウェア情報研究センター，7-9頁。
- ・新井郁男，「これからの教育における教材の意義」，日本教材文化研究財団『第7年度研究紀要』Vol. 25，日本教材文化研究財団，26-31頁。
- ・池木 清，「本学卒業生にみる既婚若年女性の職業と意識」，『女子教育研究』第17号，日本橋女学館短期大学，1-31頁。
- ・池木 清，「200X年の結婚をめぐる女子短大生の意識」，『女子教育研究』第18号，日本橋女学館短期大学，1-15頁。
- ・池木 清，「本学卒業生に見る若い女性の職業状況と意識」，『女子教育研究』第18号，日本橋女学館短期大学，17-34頁。
- ・五十川隆夫，「少年自然の家と学社融合」，『週刊教育資料』No.500~504，教育公論社。
- ・岡本包治，「地域資源の活用による学校教育」，『社会教育』第51巻第4号，全日本社会教育連合会，46-49頁。
- ・岡本包治，「学校は『教え過ぎ』なのか」，『月刊すこ〜れ』No.178，国際スコール協会，21-24頁。

- ・岡本包治,「学校教育とボランティア活動 ―子どもたちの『生きる力』をつくるために―」,『千葉教育』№458,千葉県総合教育センター, 4-8頁。
- ・佐藤晴雄,「学校・家庭・地域社会の連携を今後どのように進めていくか」,『教職研修』6月号,教育開発研究所, 30-35頁。
- ・佐藤晴雄,「統計・資料にみる少子化時代の学校教育」,『学校経営』7月号, 第一法規, 47-55頁。
- ・佐藤晴雄,「統計・資料にみる教師の『ゆとり』と学校教育」,『学校経営』12月号, 第一法規, 59-68頁。
- ・斉藤喜久志,「社会人学生増加のための環境整備」,『大学進学研究』,大学進学研究会, 24-28頁。
- ・渋谷英章,「学校教育と学社融合」,『日本生涯教育学会年報』第17号,日本生涯教育学会, 17-30頁。
- ・瀬沼克彰,「社会人取り込みと大学経営」,『季刊カルチャーエイジ』№26,全国民間カルチャー事業協議会, 24-28頁。
- ・瀬沼克彰,「全国の市民大学の実態調査」,『研究報告』№5,宇都宮大学生涯学習教育研究センター, 1-24頁。
- ・田中美子,「高等教育機関における『社会人入学』の現状と課題」,『社会教育』第51巻597号,全日本社会教育連合会, 6-9頁。
- ・蛭田道春,「生涯学習時代における学校と地域社会」,『社教情報』第35号,全日本社会教育連合会, 14-19頁。
- ・福留 強・ブストス・ナサリオ,「大学における生涯学習研究センターの役割 ―九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学生涯学習研究センターの状況と展望―」,『九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学生涯学習研究センター紀要』第1号,九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学生涯学習研究センター, 1-12頁。
- ・山本恒夫,「学社融合と自発的組織化」,『日本生涯教育学会年報』第17号,日本生涯教育学会, 1-15頁。
- ・山本恒夫,「学者融合のシステム化」,『社会教育』第51巻第2号,全日本社会教育連合会, 6-8頁。
- ・山本恒夫,「社会の変化に対応した生涯学習の推進 ―地域社会に根ざした学校の創造」,『小学校時報』第46巻第11号,第一公報社, 9-13頁。
- ・山本恒夫,「学校・家庭・地域の連携のためのシステム構築」,『学習情報研究』第11巻第12号,学習ソフトウェア情報研究センター, 4-7頁。
- ・山本恒夫,「学校・家庭・地域の連携」,『指導と評価』第42巻第10号,日本図書文化協会, 44-47頁。

- ・山本恒夫,「学社融合とは何か,学社融合の仕組み」,『週刊教育資料』No488, 489, 日本教育新聞社,各36-37頁。
- ・山本恒夫,「学社融合論」,教職研修総合特集No126『学校管理職研修読本』,教育開発研究所,28-31頁。

V 編纂書論文

- ・浅井経子,「学校図書館の活性化」,下村哲夫編『学校改善新戦略』,ぎょうせい,123-142頁。
- ・新井郁男,「生涯学習社会における学校教育の役割ー連携とスリム化」,新井郁男・亀井浩明・尾木和英編『学校・家庭・地域連携読本』,教育開発研究所,12-15頁。
- ・新井郁男,「なぜ教育内容のスリム化をしなければならないか」,新井郁男編『教育内容のスリム化』,教育開発研究所,28-31頁。
- ・新井郁男,「生涯学習社会での学校の役割はどう変わるか」,新井郁男編『学校の役割転換』,教育開発研究所,54-57頁。
- ・新井郁男,「高齢化社会での学校教育をどう転換するか」,新井郁男編『学校の役割転換』,教育開発研究所,74-77頁。
- ・新井郁男,「コミュニティ・スクールの意義はどこにあるか」,新井郁男編『学校の役割転換』,教育開発研究所,176-179頁。
- ・新井郁男,「教育内容スリム化の要請のなかで“ゆとりの時間”はどうすればよいのか」,新井郁男編『教育内容のスリム化』,教育開発研究所,230-233頁。
- ・新井郁男,「教育と学習の間のネットワークをどう考え,どう進めたらよいか」,新井郁男編『学習のネットワーク化』,教育開発研究所,3-6頁。
- ・新井郁男,「教育と学習のバランスをどう図るか」,新井郁男編『指導観の転換』,教育開発研究所,3-6頁。
- ・新井郁男,「主体性」,加藤幸次編『国際化時代に求められる資質・能力と指導』,教育開発研究所,32-35頁。
- ・新井郁男,「地域・家庭の教育力を活かす学校の教育経営と教育活動の工夫」,有園 格編『変化の時代の学力観』,教育開発研究所,68-71頁。
- ・新井郁男,「地域の人材を活用した教育活動の工夫と教育課程への位置づけ」,有園 格編『国際化の時代の学力観』,教育開発研究所,73-75頁。
- ・伊藤俊夫,「生涯学習社会における高等教育機関」,中部地区学生補導厚生研究会編『SPS』第39号,中部地区学生補導厚生研究会,26-34頁。
- ・池木 清,「短期大学における社会人受け入れの現状と課題」,(財)日本生涯学

習総合研究所『社会人受け入れの現状と課題』, (財)日本生涯学習総合研究所, 26-32頁。

- ・池木 清, 「女子高校生の進学動向の推移と短期大学の将来」, 日本私立短期大学協会『平成7年度私立短大英語教育担当教職員研修会報告書』, 日本私立短期大学協会, 5-12頁。
- ・池田秀男, 「地域社会の教育と『生きる力』」, 山極 隆編『キーワード中教審答申読本』, 教育開発研究所, 126-129頁。
- ・佐伯信男, 「北陸地方における大学公開講座の発展について(その2) - 金沢大学を中心として -」, 『金沢大学・大学教育開放センター紀要』第16号, 金沢大学・大学教育開放センター, 49-82頁。
- ・佐藤晴雄, 「ボランティア活動 Q & A」, 『中学校ボランティア活動事例集』, 教育出版, 143-162頁。
- ・佐藤晴雄, 「ボランティア活動 Q & A」, 『小学校ボランティア活動事例集』, 教育出版, 165-184頁。
- ・佐藤晴雄, 「『いじめ』にどう対応すべきか - 地域で -」, 新井・亀井・尾木編『学校・家庭・地域連携読本』, 教育開発研究所, 140-143頁。
- ・佐藤晴雄, 「生涯学習社会における学校・家庭・地域社会の連携をどう考えるか」, 高階玲治編『新教務主任読本』, 教育開発研究所。
- ・佐藤晴雄, 「地域社会との連携」, 『キーワード中教審読本』, 教育開発研究所, 50-53頁。
- ・佐藤晴雄, 「生涯学習と学校の役割」, 小島弘道編『学校管理職研修読本』, 教育開発研究所, 80-84頁。
- ・斎藤哲郎, 「自然教室について考える」, 国立赤城青年の家「BLUE PLANET」1996, 国立赤城青年の家, 27-30頁。
- ・坂本 登, 「地域の拠点としての学校・余裕教室」, 『社会教育』第51巻 2月号(通巻第596号), (財)全日本社会教育連合会, 14-16頁。
- ・澤野由紀子, 「教育課程と地域の連携 - サンクト・ペテルブルク市の場合」, 国立教育研究所編『学校と地域社会との連携に関する国際比較研究: 中間報告書(I)』, 国立教育研究所, 383-394頁。
- ・清水一彦, 「教育機能のイノベーション」, 2010大学改革研究会『大学改革2010年への戦略』, P H P 研究所, 155-178頁。
- ・堀井啓幸, 「学校の施設開放のあり方」, 新井郁男・亀井浩明・尾木和英編『学校・家庭・地域連携読本』, 教育開発研究所, 100-103頁。
- ・山田礼子, 「日本型プロフェッショナル・スクールの展開」, 2010大学改革研究会『大学改革・2010年への戦略』, P H P 研究所, 73-100頁。

- ・山本恒夫,「生涯学習社会の教育・学習システムとこれからの学校教育」,新堀通也編『教育「大変な時代」』,教育開発研究所,150-161頁。
- ・山本恒夫,「青少年の学社融合システム構築の課題と展望」,地域・学校新システム研究会編『「地域における青少年の学校外教育・予習システム構築に関する調査研究」報告書』,地域・学校新システム研究会,21-22頁。

VI 調査報告

- ・新井郁男,「生涯学習社会の観点に立った教師教育の課題と展望」,『平成5・6・7年度 上越教育大学プロジェクト研究成果報告書』,上越教育大学学内プロジェクト(代表・新井郁男),2-5頁。
- ・渋谷英章,「青少年の学社融合システムモデル実現の条件(分担)」,『「地域における青少年の学校外教育・学習システム構築に関する調査研究」報告書』,地域・学校新システム研究会,14-20頁。
- ・瀬沼克彰,「調査結果の分析と今後の指針」,『大学院,大学,短大の社会人受け入れに関する調査報告書』,日本生涯学習総合研究所,6-26頁。
- ・山田礼子,「プロフェッショナル・スクールの将来」,第百生命フレンドシップ財団編『大学改革の動向』,第百生命フレンドシップ財団,15-29頁。

8. 生涯教育と地域社会

IV 雑誌論文

- ・岡本包治,「生涯学習としての文化ーまちづくりの主役としての住民」,『c m c』No.2,(財)音楽文化創造,12-15頁。
- ・岡本包治,「近隣のつき合いの大切さ」,『月刊すこ〜れ』No.180,国際スコーレ協会,13-16頁。
- ・岡本包治,「地域活動計画論ー学習活かし産業活性化」,『生涯フォーラム』No.1161号,(財)社会教育協会,15-19頁。
- ・岡本包治,「住民主導の地域学習と支援事業の研究」,『社会教育』第51巻第1号,全日本社会教育連合会,46-49頁。
- ・岡本包治,「公民館講座が生んだ地場産業」,『社会教育』第51巻第3号,全日本社会教育連合会,46-49頁。
- ・岡本包治,「市民ホールを支える市民劇団の育成」,『社会教育』第51巻第5号,全日本社会教育連合会,80-83頁。
- ・岡本包治,「まちを活性化させた人形劇場の研究」,『社会教育』第51巻第8号,

全日本社会教育連合会, 42-45頁。

- ・佐藤晴雄,「地域の教育力・家庭の教育力と生きる力」,『季刊 教育法』107号, エイデル研究所, 17-22頁。
- ・澤野由紀子,「ヨーロッパの『市民社会』-伝統と変容」,全日本社会教育連合会『社会教育』605号,全日本社会教育連合会, 18-21頁。
- ・瀬沼克彰,「生涯学習の活性化に対する提言」,『T A L K』21号,とちぎ総合研究機構, 23-26頁。
- ・瀬沼克彰,「余暇社会に求められる地域政策」,『月刊 市政』5月号,全国市長会, 12-19頁。
- ・瀬沼克彰,「新しいまちづくりへの提案」,『季刊 スコレー』No.3,全国余暇行政研究協議会, 16-21頁。
- ・竹田敏雄,「地方の短大における生涯学習の試みと考察」,『東海大学教育研究所研究資料集』第3号,東海大学教育研究所, 83-96頁。

V 編纂書論文

- ・佐藤晴雄,「各地域社会に適応する教材の選択」,『研究紀要』第25号,(財)日本教材文化研究財団, 78-83頁。
- ・佐藤晴雄,「地域の教育力の育成」,亀井他編『中教審答申から読む21世紀の教育』,ぎょうせい, 142-144頁。
- ・谷岡経津子 他,「三重県・津市の文化・社会に関する総合的研究」,三重大学国連協力推進委員会編『アジアの地域・自然環境と開発に関する調査研究論文集』第3巻,国連地域開発センター・国際共同調査研究組織委員会, 149-160頁。
- ・藤岡英雄・猿田真嗣,「過疎地における生涯学習の需要と課題に関する研究」,『教育研究学内特別経費による研究報告書(平成6年度)』,徳島大学, 662-670頁。

VI 調査報告

- ・新井郁男,「地方都市における生涯学習と世代間交流の実態と課題 -長野県須坂市の市民学園を事例として」,青井和夫編『世代間交流の理論と実践』,長寿社会開発センター, 447-479頁。
- ・熊谷和夫,「都市生活・文化機能からの視点(共同研究『札幌圏への一極集中の問題点』)」,北海学園大学開発研究所『開発論集』第56号,北海学園大学開発研究所, 155-166頁。
- ・白木賢信,「市民の生活意識と居住希望」,「学習活動の実態(1)~(5)」,「団体加

入とボランティア活動」, 今市市生涯学習推進本部『今市市民の生活と生涯学習についての調査報告書』, 今市市生涯学習推進本部, 8-18, 19-36, 68-76頁。

- ・瀬沼克彰, 「これからのコミュニティ行政のあり方」, 『コミュニティ行政の新たな展開』, 東京都コミュニティ文化部, 39-48頁。
- ・瀬沼克彰, 「コミュニティ施設の設置・運営の現状と課題」, 『コミュニティ行政とリーダー養成に関する調査報告書』, 社会工学研究所, 59-70頁。
- ・高橋利行, 「情報源」「市営施設や公民館の利用」「女性の社会参画」「学習情報提供」, 今市市生涯学習推進本部『今市市民の生活と生涯学習についての調査報告書』, 今市市生涯学習推進本部, 36-39, 61-67, 77-80, 81-88頁。
- ・野口昌彦, 「学習希望の様相」, 今市市生涯学習推進本部『今市市民の生活と生涯学習についての調査報告書』, 今市市生涯学習推進本部, 42-60頁。
- ・谷岡経津子 他, 「文化・芸術コース, 藤堂高虎のまちづくりに学ぶ, 高齢者を生かした市民農園構想」, すきです! 津のまち『津のまち“ときめき”ゼミナール報告集』第2号, 津市, 63-92頁。

10. 生涯教育と放送・通信教育

II 編 書

- ・市川 昌, 「放送教育国際協力の諸問題」, 海外教育放送研究会編『国際協力としての教育放送』, 日本放送教育協会, 13-28頁。
- ・市川 昌, 「生涯学習としてのコミュニケーション」, 市川 昌編『現代文化とコミュニケーション』, 学術出版青山社, 237-257頁。

IV 雑誌論文

- ・清原慶子, 「社会参加の基盤としての情報バリアフリーの実現とメディア教育の課題」, 『視聴覚教育』第50巻第12号, 14-17頁。
- ・清原慶子, 「家庭でのマルチメディア活用の実態と可能性」, 『教育と情報』No.462, 文部省大臣官房調査統計企画課, 12-18頁。
- ・清原慶子, 「住民・利用者の視点に立った地域情報の推進」, 『季刊 アカデミア』第34号, 市町村職員中央研修所, 4-8頁。
- ・白石克己, 「通信制大学院への道」, 『社会教育』第51巻596号, 全日本社会教育連合会, 69-73頁。

VI 調査報告

- ・岡崎八重子,「情報メディアを利用した生涯学習」,『東海大学短期大学紀要』第30号,東海大学出版会,103-108頁。
- ・讃岐幸治・南本長穂・太田佳光,『大学の公開講座に関する調査研究報告書』,愛媛大学,1-86頁。

11. 生涯教育と関連教育施設

II 編 書

- ・伊藤俊夫,「生涯学習社会における青年の家」,全国青年の家協議会編『青春カリンウム』,(社)全国青年の家協議会,23-43頁。

IV 雑誌論文

- ・赤尾勝己,「文化行政と社会教育行政の関係性」,『文化施設と社会教育』社会教育研究所叢書第10集,社会教育研究所,6-15頁。
- ・岡本包治,「公民館のボランティアセンター化ー学習成果を生かした住民活動の支援ー」,『月刊 公民館』No465,全国公民館連合会,5-10頁。
- ・岡本包治,「公民館における『住民の参画』ー考え方と推進方策を中心にー」,『月刊 公民館』No474,全国公民館連合会,5-9頁。
- ・岡本包治,「公民館単位での生涯学習推進の研究」,『社会教育』第51巻第2号,全日本社会教育連合会,42-45頁。
- ・岡本包治,「現代を生きる公民館事業の研究」,『社会教育』第51巻第7号,全日本社会教育連合会,44-47頁。
- ・瀬沼克彰,「学習コースの高まりと新しい教育ビジネスの台頭」,『TRIEW』8月号,東急総合研究所,10-16頁。
- ・原 義彦,「公民館の経営診断技法における経営遂行指標とその意義」,『生涯学習研究』第1号,宮崎大学生涯学習教育研究センター,1-12頁。
- ・原 義彦,「公民館事業 Q & A まちづくり」,『月刊 公民館』9月号,第472号,全国公民館連合会,27-30頁。
- ・蛭田道春,「社会教育施設としての余裕教室活用の視点」,『社会教育』第51巻2月号,全日本社会教育連合会,17-21頁。

V 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「施設間連携と施設融合論の視点」,国立花山少年自然の家編『しゃくなげ』第9号,国立花山少年自然の家,1-6頁。
- ・伊藤俊夫,「青年の家を考える」,全国青年の家協議会編『全国青年の家研究協議会報告書』,(社)全国青年の家協議会,16-25頁。
- ・岡本包治,「生涯学習時代の公民館事業ー学習プログラムの内容と方法・形態を問うー」,『第7回生涯学習推進研究協議会記録』,全国公民館連合会,40-60頁。
- ・坂本 登,「妙高少年自然の家と上越教育大学」,『生涯学習社会の観点に立った教師教育の課題と展望』,上越教育大学教育研究学内プロジェクト,13-16頁。
- ・澤野由紀子,「受講者の実態」,(財)日本余暇文化振興会編『市区町村における市民大学等に関する実態調査』,財団法人 日本余暇文化振興会,52-56頁。

VI 調査報告

- ・伊藤俊夫,「青年教育施設に対する提言」,『青年の意識と青年の家利用に関する研究』,青年の生活意識と行動に関する研究会,99-103頁。
- ・坂本 登,『公民館の運営に関する調査報告書 その2』,(社)全国公民館連合会,1-39頁。
- ・瀬沼克彰,「カルチャーセンターの経営動向」,『余暇需要及び産業動向に関する調査研究』,余暇開発センター,342-347頁。

12. 学習情報・相談

I 著 書

- ・今西幸蔵,『生涯学習と学習情報提供の考え方』,1-53頁。
- ・今西幸蔵,『学習相談のストラテジー』,1-68頁。

IV 雑誌論文

- ・岡本包治,「のぞましい生涯学習情報紙の研究」,『社会教育』第51巻第11号,全日本社会教育連合会,44-47頁。

VI 調査報告

- ・柳田雅明・山本慶裕・赤尾勝己,「生涯学習援助型データベースおよび情報通信ネットワークの研究」,『電気通信普及財団研究調査報告書』No.10, 電気通信普及財団, 420-428頁。

13. 人材活用

IV 雑誌論文

- ・岡本包治,「住民ガイドの養成と活動支援の研究」,『社会教育』第51巻第6号, 全日本社会教育連合会, 38-41頁。
- ・岡本包治,「地域単位の高校生ボランティア活動」,『社会教育』第51巻第10号, 全日本社会教育連合会, 80-83頁。
- ・岡本包治,「人間はすべてボランティア」,『月刊すこ〜れ』No.181, 国際スコレ協会, 13-16頁。
- ・岡本包治,「ボランティア活動論ー足元の活動を見直そう」,『生涯フォーラム』No.1161, (財)社会教育協会, 12-15頁。
- ・西村美東士,「生涯学習時代における公運審の役割と課題」,『社会教育』51巻10号, 全日本社会教育連合会, 106-108頁。

V 編纂書論文

- ・伊藤俊夫,「生涯学習とボランティア活動」, 文部省編『全国ボランティア活動協議会報告書』, 文部省, 99-103頁。
- ・澤野由紀子,「公民館におけるボランティア活動(阪南市)」, 山本慶裕編『生涯学習のボランティア・バンクに関する調査研究』, 国立教育研究所, 32-35頁。

VI 調査報告

- ・草野勝彦・緒方明夫・橋迫和幸・岡安孝弘・原 義彦,「ボランティア活動に対する宮崎県民の意識」,『生涯学習研究』第1号, 宮崎大学生涯学習教育研究センター, 59-67頁。

14. 生涯教育と行政施策

IV 雑誌論文

- ・岡本包治,「生涯学習事業の特色を探る－自治体としての取組みに求められるもの－」,『社会教育』第51巻第1号,全日本社会教育連合会,6－8頁。
- ・岡本包治,「まちづくり出前講座論－住民の地域学習支援事業」,『社会教育』第51巻第12号,全日本社会教育連合会,10－13頁。
- ・瀬沼克彰,「行政の生涯学習化の方向」,『社会教育』4月号,全日本社会教育連合会,6－10頁。
- ・瀬沼克彰,「行政と民間指導事業署の連携」,『季刊カルチャーエイジ』№27,全国民間カルチャー事業協議会,26－29頁。
- ・塚本 繁,「生涯学習支援施策の指標」,『社会教育』№294,福島県教育委員会,2－4頁。
- ・山本恒夫,「これからの生涯学習推進における専門的職員の役割」,『社会教育』第51巻第10号,全日本社会教育連合会,12－15頁。

V 編集書論文

- ・瀬沼克彰,「生涯学習関連機関の交流と連携」,『生涯学習関連機関の交流集会報告書』,東京都生涯学習情報センター,7－22頁。
- ・蛭田道春,「生涯学習推進体制の構築」,吉川・角替編『生涯学習推進・社会教育計画』,文教書院,180－187頁。

VI 調査報告

- ・池田秀男編,「環境浄化活動実践事例集」,『青少年健全育成推進事業 平成8年度文部省委嘱事業』,広島県教育委員会,1－101頁。
- ・原 義彦・緒方明夫・草野勝彦・橋迫和幸・岡安孝弘,「宮崎県民の生涯学習－学習活動と学習希望の様相を中心に－」,『生涯学習研究』第1号,宮崎大学生涯学習教育研究センター,39－57頁。
- ・山田 誠,「II. 学習の実態」,『瀬戸田町生涯学習のまちづくり基礎調査報告書』,瀬戸田町教育委員会,9－32頁。
- ・山田 誠,「第6章 公民館における学習活動」,『広島市生涯学習市民意識調査報告書』,広島市教育委員会,89－110頁。
- ・山本恒夫,「行政への期待と課題」,今市市生涯学習推進本部編『今市市民の生

活と生涯学習についての調査』、今市市生涯学習推進本部，105－109頁。

15. 生涯教育の推進事例

IV 雑誌論文

- ・山口 謙，「あっちこっち出前講座 意義と今後の課題」、『社会教育』606号，全日本社会教育連合会，37－39頁。

V 編纂書論文

- ・佐伯信男，「金沢大学における学・社融合の大学教育開放事業－公開講座と科目等履修生制度融合の試み－」、『日本生涯教育学会年報』第17号，日本生涯教育学会，125－131頁。

16. 諸外国の生涯教育

IV 雑誌論文

- ・赤尾勝己，「アメリカの教育改革を導く思想」、『理想』第658号，理想社，16－26頁。
- ・出相泰裕，「高等教育への成人の入学ルートに関する一考察：イギリス・オーストラリア，フランス・ドイツの現状から」、『大学研究』第14号，筑波大学大学研究センター，113－126頁。
- ・山田礼子，「UCLA エクステンションの紹介」、『地域と大学』6月号，北海道大学，2－4頁。

V 編纂書論文

- ・赤尾勝己，「生涯学習社会アメリカの苦悩」，黒沢惟昭・佐久間孝正編『苦悩する先進国の生涯学習』，社会評論社，85－115頁。
- ・澤野由紀子，「ロシア連邦における教育改革の現状と社会主義教育の『遺産』」，日本比較教育学会編『比較教育学研究』第22号，東信堂，51－60頁。
- ・澤野由紀子，「EUにおける教育改革－マーストリヒト条約発効後の教育事業の再編－」，日本教育政策学会年報第3号『転換期ヨーロッパの教育改革を問う』，八千代出版，75－91頁。
- ・渋谷英章，「フィリピンの『価値教育』における学校と地域社会」、『学校と地

域社会との連携に関する国際比較研究 中間報告書(Ⅰ)』, 国立教育研究所, 467-477頁。

VI 調査報告

- ・出相泰裕, 「欧州3カ国の高等教育への成人の入学ルート: イギリス・フランス・ドイツの現状」, 『大学改革の動向』, 大学と生涯学習研究会(第百生命フレンドシップ財団委託: 代表 斎藤諦淳), 61-67頁。

17. その他

I 著 書

- ・根木 昭(枝川明敬・垣内恵美子・大和 滋), 『文化政策概論』, 晃洋書房

II 編 書

- ・清水一彦, 『教育データランド '96~'97』, 時事通信社, 405頁。

IV 雑誌論文

- ・赤尾勝己, 「海外の教育政策研究動向」, 『日本教育政策学会年報』第3号, 八千代出版, 263-267頁。
- ・伊藤俊夫, 「社会教育関連の出版物の動向」, 『社会教育』第51巻6号(通巻600号), 全日本社会教育連合会, 8-12頁。
- ・清原慶子, 「住民参加と情報公開の関連性 - 東京都臨海副都心開発懇談会の事例を中心に -」, 『法学研究』第43巻12号, 慶應法学会機関誌, 255-283頁。
- ・根木 昭(枝川明敬), 「阪神・淡路大震災の文化施設及び文化活動に与えた影響とその復旧課程における兵庫県文化政策」, 『長岡技術科学大学研究報告』第18号, 長岡技術科学大学, 69-73頁。
- ・根木 昭(大橋敏博・神部一男), 「1980年代における『文化行政』の時代背景 - 『文化の時代』の社会的背景と『地方の時代』の文化的側面」, 『長岡技術科学大学研究報告』第18号, 長岡技術科学大学, 61-67頁。
- ・根木 昭(枝川明敬・垣内恵美子), 「文化政策形成過程に関する一考察 - 政策科学的アプローチの可能性 -」, 『文化経済学会<日本>論文集』第2号, 文化経済学会<日本>, 35-39頁。
- ・山田礼子, 「家庭内環境」, P H P 研究所・研究本部編『働く女性の職場環境と家庭環境に関するアンケート調査報告書』, P H P 総合研究所, 3-8, 48

－75頁。

- ・山田礼子, “Emergence of Inequality Issues of Educational Opportunities in Japan”, 『P H P 研究レポート』Vol 10, P H P 研究所, 189－202頁。

V 編纂書論文

- ・片山美都子, 「専門職継続教育の実践的私論－看護教育の立場から－」, K I E R A－G S P 学会『教育・研究年誌』No 1, K I E R A－G S P 学会, 48－81頁。
- ・清水一彦, 「教育課程の改革(2)」, 青木宗也・示村悦二郎編『大学改革を探る』, 大学基準協会, 197－216頁。

VI 調査報告

- ・清水一彦, 「教育課程の改革」, 『大学改革の実施状況に関する調査研究報告書』, 90－109頁。
- ・根木 昭(枝川明敬・垣内恵美子), 「米国における芸術文化支援政策の変遷, 現状と課題」, 『文部省科学研究費総合研究「アートマネジメント(芸術経営)機能と効果に関する研究」報告書』, 45－85頁。
- ・根木 昭, 「高度情報化に対応する行政上の課題－文化(含 文化財)」, 『文部省科学研究費総合研究「高度情報化に伴う社会の変容と行政上の課題に関する研究」報告書』, 87－103頁。